

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

{ 10/15 }
平成29年(2017年)
No.2214

秋の杉並に笑顔の輪。
地域の絆づくり楽しくて。

キャラクターショーに交流自治体の物産展、会場を埋め尽くす数々の出店テント——。爽やかな秋の週末を心ゆくまで楽しむ、区最大のイベント「すぎなみフェスタ」が今年も開催されます。杉並の魅力をたっぷり詰め込んだこのイベントを、実行委員長として5年にわたり支えてきたのが秋山とよさん。チャーミングな笑顔が印象的な秋山さんの人柄と、人と地域の交流の場づくりに携わる思いに迫りました。



特集 秋山 とよ

すぎなみピト

Contents —主な記事—

5 | すぎナビに新しい機能が追加 6 | アグリフェスタ2017 8-9 | すぎなみフェスタ2017 10 | なかま集まれ! 16 | 杉並区総合震災訓練

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

選挙のお知らせ 10月22日(日)は衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査の投票日です。投票日は「選挙のお知らせ」を持って投票所へ。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

幅広い年代の来場者が思い思いに楽しめるイベント

—すぎなみフェスタの実行委員長を務めることになった経緯を教えてください。

副会長を務めている杉並区町会連合会(杉町連)の代表者として、第1回すぎなみフェスタの実行委員会に参加したのが、そもそものきっかけです。当初は、実行委員長の大役を務めることになるなんて夢にも思っていなかったんですよ。それが、最初の委員会で実行委員長に推薦され、そのまま選ばれてしまったんです。私は気が向かなかったのですが、杉町連の代表者としては断るわけにはいきません。だから、仕方なく引き受けました(笑)。

当初は何をすればいいのかさっぱり分からず途方に暮れるばかりでした。でも、実行委員会スタッフの方々の頑張りで準備は着々と進み、私も負けじと仕事の一つ一つこなして行って、なんとか第1回の開催にこぎ着けることができました。

—年々にぎわいを増しているすぎなみフェスタですが、どんな魅力があるとお考えですか。

たくさんあるので選ぶのが大変です。まず思い付くのは、バラエティーに富んだ出店テントです。スイーツやパン、地元産の野菜、お父さんのお楽しみの焼き鳥、さんまの炭火焼きの無料配布などもあり、とにかく内容が盛りだくさんなんです。私はフェスタ開催期間中、朝から晩までメインステージ横の実行委員会本部に詰めているのですが、たくさんの人でにぎわう出店の雰囲気味わいたくて、暇さえあれば会場内を巡っています。

もう一つ、交流自治体が運営する産地直売店が一堂に会する物産展も、すぎなみフェスタの目玉になっています。私も、ここで各地の特産物を買うのを毎年楽しみにしています。28年は小千谷市のブースでお酒とお米を買いました。いいものばかりなので、友人におすそ分けすると、とても喜ばれるんですよ。

でも、こう話していて思いましたが、すぎなみフェスタの一番の魅力は、会場を訪れるたくさんの人が作り出す和気あいあいとした雰囲気なの



かもしれませんね。小さなお子さんを連れてお父さん、お母さんをはじめ、お年寄りや若者、小学生のグループなど、幅広い年代の人が訪れて、思い思いに楽しめるのがすぎなみフェスタの特色ですから。キャラクターショーのステージで、お父さんがヒーローの活躍を見せようと、子どもを抱き上げたり肩車したりしているのを見かけたときや、来場者が物産展の会場で交流自治体の方々と楽しくおしゃべりしているのを見かけたときなど、第1回開催時からすぎなみフェスタの基本理念に掲げてきた「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」が、ちゃんと実現できていると思えてうれしくなります。私はこのスローガンが本当にいいなあと思っているんです。人の輪や地域の輪が次々に生まれるすぎなみフェスタは、本当に素晴らしいイベントです。

皆が楽しめるすぎなみフェスタのお手伝いをこれからも

—大きなイベントの運営ですから、さまざまな苦労もあるのではないのでしょうか。

いつも心配しているのがお天気です。特に第3回は台風の影響で、開催日の2日間ともに雨模様でした。私は楽道家で、いつも「何とかなる」と思っているのですが、このときばかりはちゃんと開催できるか、とてもやきもきしました。

特に大変だったのが、「フェスタは開催するのか」「キャラクター

ショーは中止なのか」といった問い合わせへの対応です。両日も、実行委員会本部には問い合わせの電話がひっきりなしにかかってきて、スタッフ一同でこ舞いでした。でも、そんな天気にもかかわらず開催を心待ちにしてくれている方が多数いらっしゃるということがよく分かり、すぎなみフェスタが区民の方々にとって大切なイベントになったのだと確認することができました。

雨が強くなった開催2日目は、トラブルは起きていないかと何度も会場の様子を見て回りました。そんなとき、目に飛び込んできたのは、かっぱ姿でキャラクターショーや出店で買い物を楽しんでいる子どもたちの姿です。それを見て、私もようやく楽しい気持ちになれたことをよく覚えています。

—杉並を元気にしている、秋山さんの元気の秘訣を教えてください。

私は学生時代からバレーボールを続けてきて、今もソフトバレーボールを楽しんでいます。ですから、体を動かすことが何より健康の源になっています。あとは、よく話をしてよく笑うことでしょうか。うれしいときは心から喜びますし、落ち込むときは徹底的に落ち込みます。喜怒哀楽がはっきりしているので、ストレスをため込むことがないのだと思います。

—今後の抱負をお願いします。

これまでも会場で生まれる人の輪、地域の輪を大切にしようと考えて、実行委員長の仕事に取り組んできました。その思いがけない、すぎなみフェスタは大勢の区民が集まり、また、区外の幅広い地域から多数の人が会場を訪れて、秋のひとときを楽しく過ごせるすてきなイベントになりました。皆で集まって、スポーツをしたり、おしゃべりを楽しんで過ごすのが好きな私にとって理想のイベントです。もしかしたら、私がすぎなみフェスタを一番楽しんでいるんじゃないかなとも思います。私がこれから何回、実行委員長を務められるか分かりませんが、これからも皆が楽しむことができ、人の輪、地域の輪が生まれ育まれるすぎなみフェスタのお手伝いを続けていけたらと思います。

区長からのコメント

今年で5回目となるすぎなみフェスタがいよいよ開催されます。秋山委員長をはじめとする実行委員の皆様が、魅力あるステージや盛りだくさんの杉並のグルメなど、誰もが楽しめる区の一大イベントに育ててくれました。これまでご協賛いただいた皆様にも大変感謝しています。みんなで作るこのイベントが、私も待ち遠しくなりません。皆様もお誘いあわせの上、ぜひ会場にお越しください!



地域活動に尽力中の秋山さんより

町会・自治会に参加してみませんか?

地域の人が集まり、より良い暮らしのために力を合わせて活動することが町会・自治会の目的です。また、災害が発生したときに必要になる助け合いの中心になる役目もあります。しかし若い人たちの参加が少ない状況です。

こうした状況を変えるのは簡単ではないと思います。まずは、若い人たちと対話する機会を設けて、彼らの意見をもとに町会・自治会の活動をより魅力的なものに変えていく努力をしていきたいと考えています。

興味のある方は、町会・自治会が定期的に実施している防災訓練に参加してみませんか。お子さん連れでも参加できるので、ぜひ、家族そろっていらしてください。

もしかしたら私がすぎなみフェスタを一番楽しんでるかもしれません。

秋山さんに聞いた

すぎなみフェスタのオススメ



●ステージショー
子どもたちが大好きなキャラクターショーの会場は、いつも親子でいっぱいです。



●食べ歩きが楽しい
出店テントには区内のおいしいものが集結。一番人気は、スイーツとパンのコーナーです。



●日本各地の物産展
交流自治体の皆さんが各地自慢の特産物を販売する物産展。私も毎年楽しみにしています。



11月4日(土)・5日(日)開催!

詳しくは8・9面へ

interview
すぎなみビト × 秋山とよ

プロフィール：秋山とよ(あきやま・とよ)。埼玉県南埼玉郡菟浦町(現在の久喜市)生まれ。結婚をきっかけに杉並区の旧馬橋に移り住む。杉並区在住歴は50年以上に及ぶ。町会活動に取り組みながら、青少年育成委員、体育指導委員などを歴任。10年から新高門寺町会会長。29年から杉並区町会連合会会長。25年からすぎなみフェスタ実行委員長を務める。

